

実践記録

181

シリーズ

ゆうゆう教室～集まれ！田上っ子！～

田上町公民館

○ゆうゆう教室とは？

小学生の子どもや親子を対象に毎月一回、主に土曜日に町内の各施設で様々な内容の活動や体験学習を行っている、田上町公民館を代表する事業の1つです。

○事業のねらい

レクリエーション、自然体験、創作活動等を通して、「楽しむ」ことの中から、子どもたちの自主性、協調性、創造性及び豊かな情操を育むことを目的としています。

○参加者の募集方法・実施方針

年度初めの4月に、町内の小学校を通じて「ゆうゆう教室登録募集」の案内を配布し、公民館で受け付けます。その後は、登録した児童宛に月ごとに事業の案内を同じく小学校経由で配り、参加希望者を公民館で取りまとめます。ちなみに、未登録者も毎月発行している公民館だよりの記事で月ごとの事業内容を知ることができ、年度途中での登録も可能です。

また、会場は基本的に田上町内とし、事業内容によっては参加費（材料費等、実費のみ）を徴収することもあります。



○活動事例

平成24年9月の回では、会場の田上町コミュニティセンターに新潟県立歴史博物館研究員の山本哲也さんを講師としてお招きし、縄文時代から古墳時代頃まで作られていたとされる装身具「まが玉」を作る体験教室を開催しました。親子で63名もの参加があり、当日は講師の方がお話するまが玉についての説明に、集まった参加者は皆、興味津々。その後、四角にカットされた石材をやすりで丸く削る作

業を各々で進め、デザインも形も世界でたった一つの自分だけのまが玉を完成させました。

平成25年1月の回では、フリーマーケットを実施しました。年明け最初ということで、参加した34名の小学生の子どもたちが年末年始の大掃除で自宅から出てきたリサイクル品を持ち寄り、「ゆうゆう教室専用通貨」を使って自分のお店の商品の販売と友達のお店での買い物を楽しみました。自分が持参した商品の値段をいくらにしようか迷っている子や、おもちゃや文房具、図書など目移りしてしまう商品の数々を前にどれを買うか悩む子など、反応も様々でしたが、「本格的なおみせ屋さんごっこ」を通してお金の使い方を学び、ちょっぴり大人の気分を味わえた子どもたちはとても満足そうな顔をしていました。

○連携先・協力先

新潟経営大学教授の中島純先生に講師の方を紹介していただいたり、同大学の生徒や留学生の方と共にボランティアスタッフとして事業に加わっていただいています。

○現状の課題と今後の展望

スタッフとして参加するボランティアの事業への定着度をさらに高めたい、というのが課題です。現状、ボランティアとして来てくれる学生や一般の方の人数やメンバーもその都度バラつきがあり、定着度はまだまだ高いとはいえません。参加する子どもたちの側としても、年の離れたお兄さん、お姉さんや外国から来た留学生との交流はとても刺激になると思います。

また、当事業は長年同じ担当者が企画・運営に携わっているため、今後は計画の段階から積極的に関わってくれるボランティアを多く呼び込める体制を目指したいと思います。（牛田 記）

